



★人はなぜ、感動するのか

人はなぜ、自然の景色を見て感動するのでしょうか。人によっては、お金を払ったり遠く離れたところまで行ったりしてでも、その景色を見たいと思う人もいます。

3学期に入り、学年教員がローテーションで行っている道徳の授業の中で「命の木」という題材を扱いました。この題材は、屋久島にある屋久杉について書かれた文章で、「なぜ屋久杉のような自然に出来上がったものに対して感動するのか」ということについて考えを深めました。生徒の様々な考え方に触れる中で、生徒たちの豊かな感性と想像力が存分に発揮されている回答が多くあり、教員としても「なるほど、そんな素敵な考え方もあるのか」ととても良い気付きを得ることができました。一部の回答を紹介します。

Q.人はなぜ、屋久杉のような存在に感動するのだろうか？

- ・自分の生命がこの世に生きる前からずっと同じ時間を生きていて、それに触れることによって、世界のすべてが一瞬だけつながるような気がするから。
- ・雨風にさらされながらも、形を保って美しい形を残しているから。
- ・命のバトンをつないできているから。
- ・人の力では作れない、そして、人工的なものよりも偉大だから。
- ・受け継がれてきた長い命に感銘を受けているから。
- ・人生の大先輩として、「精一杯生きろ」というメッセージを伝えてくれているから。
- ・何百年、何千年も人や動物を幸せにしてきているものだから。
- ・何年もの間、そこに住む人達を見届けてきたから。
- ・人と同じように大切に育ってきたから。共感するところがある。
- ・自然にふれあうということは、過去に触れあうということ。

普段は特に何も感じていないようなことでも、ふと疑問をもって自分に問うてみると、色々な考えを巡らせることができます。ぜひご家庭でも話題にしてみてください。

★学年行事実行委員会が始動しました

3月24日(月)に学年行事があります。例年、生徒自身が企画・運営し、全員が楽しめる行事を通して自主性を引き出し、連帯感を持てるように行っています。各クラス男女2名ずつ実行委員を選出し、学年行事当日に向け、活動を始めています。

1年間の最後の取り組みとして、実行委員を中心に全体で協力しながら作り上げられるとよいと思います。また、良い思い出で1年間を締めくくれるよう、教員も生徒の活動を支えていきます。



★2年生への準備をしましょう

今日2月21日で、1年生の登校日が残り20日になりました。自分で進んで行動したり、クラスを引っ張るような掛け声があったり、入学当初と比べて、成長を感じる場面が多くみられます。

その中でこれから2年生になるにあたり、授業と休み時間の切り替えや時間を見て行動するなど、まだまだ改善ができる部分もたくさんあります。残り少ない期間の中で、現段階での自分の生活を振り返り、良いところはそのまま継続して、改善すべきところは少しずつでも改善していけるように意識していきましょう。

★今後の予定

日時	時程	予定
2月24日(月)		振替休日
2月25日(火)	50分×4	学年末考査 (学活、保体、国語、数学) (学活、技・家、英語、社会) (学活、音楽、美術、理科)
2月26日(水)	50分×4	
2月27日(木)	50分×4	
2月28日(金)	50分×6	